



## 日工株式会社 2015年3月期 第3四半期 決算説明資料

平成26年4月1日～平成26年12月31日

### 【アスファルトプラント/群馬県】

ミキサ配置を、新材プラント、リサイクルプラントの中間に配置し、リサイクル材の搬送ルートを最小限にして、外部への臭気の拡散対策、メンテナンス性を向上させた、これからのリサイクル材主体の生産体制にマッチした、当社の次世代主力アスファルトプラントです。



NIKKO Group



## 2015年3月期 第3半期 決算説明資料

- ▶ P.3…第3四半期決算実績 サマリー
- ▶ P.4…セグメント別業績 予想と実績
- ▶ P.5…売上高と営業利益の推移
- ▶ P.6…セグメント別 売上高・営業利益
- ▶ P.7-10…連結業績の詳細
- ▶ P.11…【連結】 経常利益 増減要因分析
- ▶ P.12…【連結】 財政状態の分析
- ▶ P.13…株主還元配当金
- ▶ P.14…2015年3月期 通期業績予想
- ▶ P.15…海外事業の現況
- ▶ P.16…連結子会社の現況
- ▶ P.17-18…重要な後発事象



中国で稼働中の日工(上海)製のアスファルトプラント  
NBD320ABZ



## 第3四半期決算実績 サマリー

(百万円)

	2014年3月期 3Q累計	2015年3月期 3Q累計	増減	決算のポイント (前年同期比)	参考	
					前期通期 実績	当期通期 予想
売上高	20,471	20,166	▲ 304	<b>【売上高】</b> アスファルトプラント関連事業、コンクリートプラント関連事業がともに減収となったことにより全体で減収となった。 <b>【営業利益】</b> 昨年度、上期はアスファルトプラント製品で好採算物件が多かったが、今年度はコスト増もあり、利益率が低下。コンクリートプラント製品、メンテナンスサービス、搬送等は好調に推移。(↓前年同期比) ・アスファルトプラント関連…▲615 ・コンクリートプラント関連…+255 ・環境・搬送… +47 ・その他 …… +36 <b>【当期純利益】</b> 中国の持分法適用会社の合併解消により、出資持分評価損を繰延税金資産に積み立てることができたため、増益となった。 <b>【受注残高】</b> アスファルトプラント関連事業、コンクリートプラント関連事業を中心に増加した結果、全体では大幅な増加となった。	32,073	32,000
営業利益	1,243	945	▲ 298		2,249	1,900
経常利益	1,226	884	▲ 342		1,982	1,700
四半期純利益	612	1,044	+431		888	1,100
受注残高 (四半期末残高)	9,298	10,776	+1,478		—	—



# 2015年3月期 セグメント別業績 予想と実績

(単位:百万円)

	売上高						営業利益 (営業利益率)					
	2014年3月期			2015年3月期			2014年3月期			2015年3月期		
	通期実績	3Q実績	進捗率	通期予定	3Q実績	進捗率	通期実績	3Q実績	進捗率	通期予定	3Q実績	進捗率
アスファルトプラント 関連事業	17,258	10,884	63.1%	17,300	9,917	57.3%	2,125 (12.3%)	1,376 (12.6%)	64.8%	1,950 (11.3%)	761 (7.7%)	39.0%
コンクリートプラント 関連事業	8,577	5,551	64.7%	8,200	5,540	67.6%	678 (7.9%)	401 (7.2%)	59.1%	600 (7.3%)	657 (11.9%)	109.5%
環境及び搬送 関連事業	1,944	1,364	70.2%	2,700	1,603	59.4%	166 (8.5%)	86 (6.3%)	51.8%	250 (9.3%)	134 (8.4%)	53.6%
その他事業	4,292	2,670	62.2%	3,800	3,105	81.7%	388 (9.0%)	130 (4.9%)	33.5%	350 (9.2%)	167 (5.4%)	47.7%
全社費用	-	-	-	-	-	-	▲ 1,109	▲ 751	67.7%	▲ 1,250	▲ 774	61.9%
合計	32,073	20,471	63.8%	32,000	20,166	63.0%	2,249	1,243	55.3%	1,900	945	49.7%

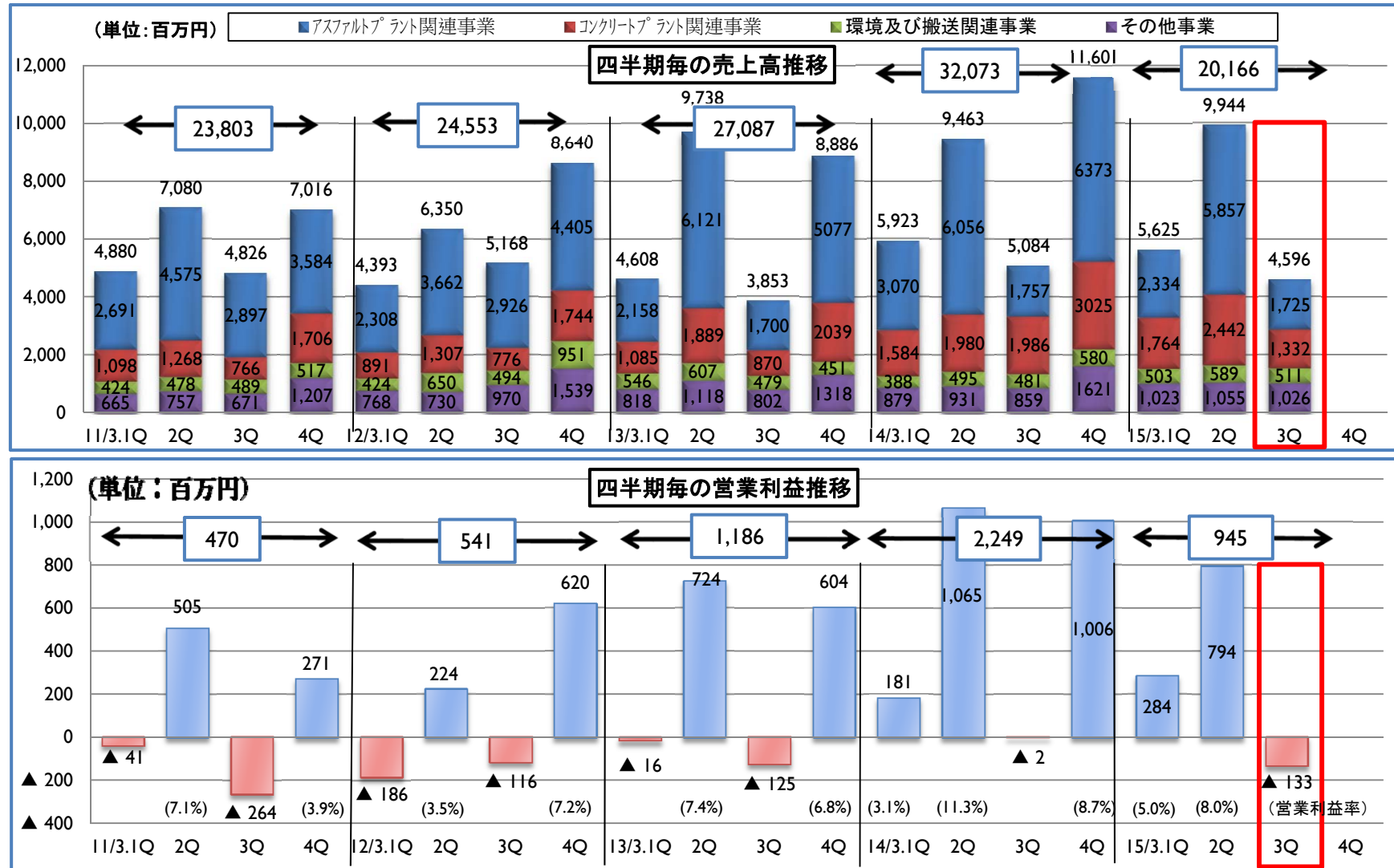
1株当たり配当金	2014年3月期		2015年3月期	
	中間	3.00 円	中間	4.00 円
期末	4.00 円	期末(予想)	5.00 円	
年間	7.00 円	年間	9.00 円	



NIKKO Group







## 2015年3月期 第3四半期 売上高と営業利益の推移



## 2015年3月期 第3四半期 セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

セグメント	売上高			営業利益		
	第3四半期			第3四半期		
	2013年 4月～12月	2014年 4月～12月	前期比	2013年 4月～12月	2014年 4月～12月	前期比
 アスファルトプラント 関連事業	10,884	9,917	▲967 (▲ 8.9%)	1,376	761	▲615 (▲ 44.7%)
 コンクリートプラント 関連事業	5,551	5,540	▲11 (▲ 0.2%)	401	657	+255 (+63.7%)
 環境及び搬送 関連事業	1,364	1,603	+239 (+17.5%)	86	134	+47 (+54.9%)
 その他事業	2,670	3,105	+434 (+16.3%)	130	167	+36 (+27.8%)
全社費用	-	-	-	▲751	▲774	-
合計	20,471	20,166	▲304 (▲ 1.5%)	1,243	945	▲298 (▲ 24.0%)



NIKKO Group



## 連結業績の詳細

# アスファルトプラント関連事業

### ●セグメントの概要

アスファルトプラントの製造・販売。販売先は主に国内の大手道路会社、及び海外各地区道路会社等。アスファルトプラントのメンテナンスサービス。



【アスファルトプラント/群馬県】  
ミキサ配置を、新材プラント、リサイクルプラントの中間に配置し、リサイクル材の搬送ルートをも最小限にして、外部への臭気の拡散対策、メンテナンス性を向上させた、これからのリサイクル材主体の生産体制にマッチした、当社の次世代主力アスファルトプラントです。  
(表紙プラント・夜撮影)



【アスファルトプラント/東京都】  
最高水準の省エネルギー・環境対策技術の採用に加えて、立体構造により従来比40%もの省スペース化を実現した最新鋭の都市型アスファルトプラントです。

### ●製品売上、サービス売上共に減少

国内ユーザーの設備投資意欲は旺盛で受注は前年並みだったが、国内製品およびメンテナンスサービスが減少。中国国内売上が増加したものの、全体として減収。

(単位：百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	前期比
売上高	10,884	9,917	▲967 (▲8.9%)
構成比率	53.2%	49.2%	▲4.0%
営業利益	1,376	761	▲615 (▲44.7%)
営業利益率	12.6%	7.7%	▲5.0%



NIKKO Group

# 連結業績の詳細 コンクリートプラント関連事業

## ●セグメントの概要

コンクリートプラント及びコンクリートポンプ車の製造販売。販売先は主に国内の生コン工場。コンクリートプラントのメンテナンスサービス。



【コンクリートプラント  
/富山県富山市】  
製品品質アップ、環境にも配慮し新設した「DASH-200Nミキサ」搭載のプレキャストコンクリート製品プラントです。



DASH-200Nミキサ

【コンクリートポンプ車】  
ミキサー車で運搬された生コンクリートを油圧により、パイプとホースを通じて型わくに流し込む作業車です。高強度コンクリートをはじめ様々なコンクリートを力強く圧送します。その性能は高い評価を得ております。



## ●メンテナンスサービスが伸長

設備投資は引き続き旺盛。関東湾岸地区に新たな営業拠点を開設した効果もあり、メンテナンスサービスの売上高が増加。

(単位：百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	前期比
売上高	5,551 	5,540 	▲11 (▲0.2%)
構成比率	 27.1%	 27.5%	+0.4%
営業利益	401 	657 	+255 (+63.7%)
営業利益率	7.2%	11.9%	+4.6%





# 連結業績の詳細 環境及び搬送関連事業

## ●セグメントの概要

ベルトコンベヤの製造・販売。空き缶・ペットボトル選別装置等の環境関連製品の製造・販売。



### 【固形燃料燃焼システム】

本バイオマス固形燃料燃焼システムを東北エリアに市場投入することにより、東北大震災で発生した甚大な震災がれきを固形のバイオマス燃料として利用することで震災廃棄物問題の解決だけでなく、アスファルト合材を製造し道路の復旧復興にも貢献する事ができました。



### 【廃石膏加熱リサイクルシステム】

建築廃材として年間約百数十万トン発生している廃石膏ボードを再利用するリサイクルシステムです。石膏ボードを破砕機で粉砕・分別後、過熱処理することで無水石膏を生成し、不溶化材と混合し環境負荷を低減した土壌改良剤を生産します。

## ●搬送製品販売が伸長

主力搬送製品であるポータブルコンベヤが建設・土木関連事業向けに好調に推移し、売上が伸長。

(単位：百万円)

	2014年3月期	2015年3月期	前期比
売上高	1,364	1,603	+239 (+17.5%)
構成比率	6.7%	8.0%	+1.3%
営業利益	86	134	+47 (+54.9%)
営業利益率	6.3%	8.4%	+2.1%



NIKKO Group

## 連結業績の詳細 その他事業

### ●セグメントの概要

仮設機材、ショベル等土農工具、水門、破碎機等の製造・販売。



#### 【傾斜用安全昇降システム】

連結子会社 日工セック㈱

アルミ自在階段「ラク2タラップ」は、災害復旧事業の工事用通路、津波対策避難通路など、安全機材として、全国で採用されております。又H26年度国土交通省新技術システム、NETISの「推奨技術」に選定されました。



#### 【ダブルロール破碎機】

連結子会社 ㈱前川工業所

廃コンクリート・廃アスファルトなどの大塊を破碎できる再生砕石用破碎機です。破碎された廃コンクリート等は、省資源・環境循環のため再生合材として利用されます。

### ●水門関係製品の販売が伸長

活発な公共工事・民間建築を背景に仮設機材製品が好調。ショベル等土農工具、破碎機、水門関係製品の売上高も増加。

(単位：百万円)

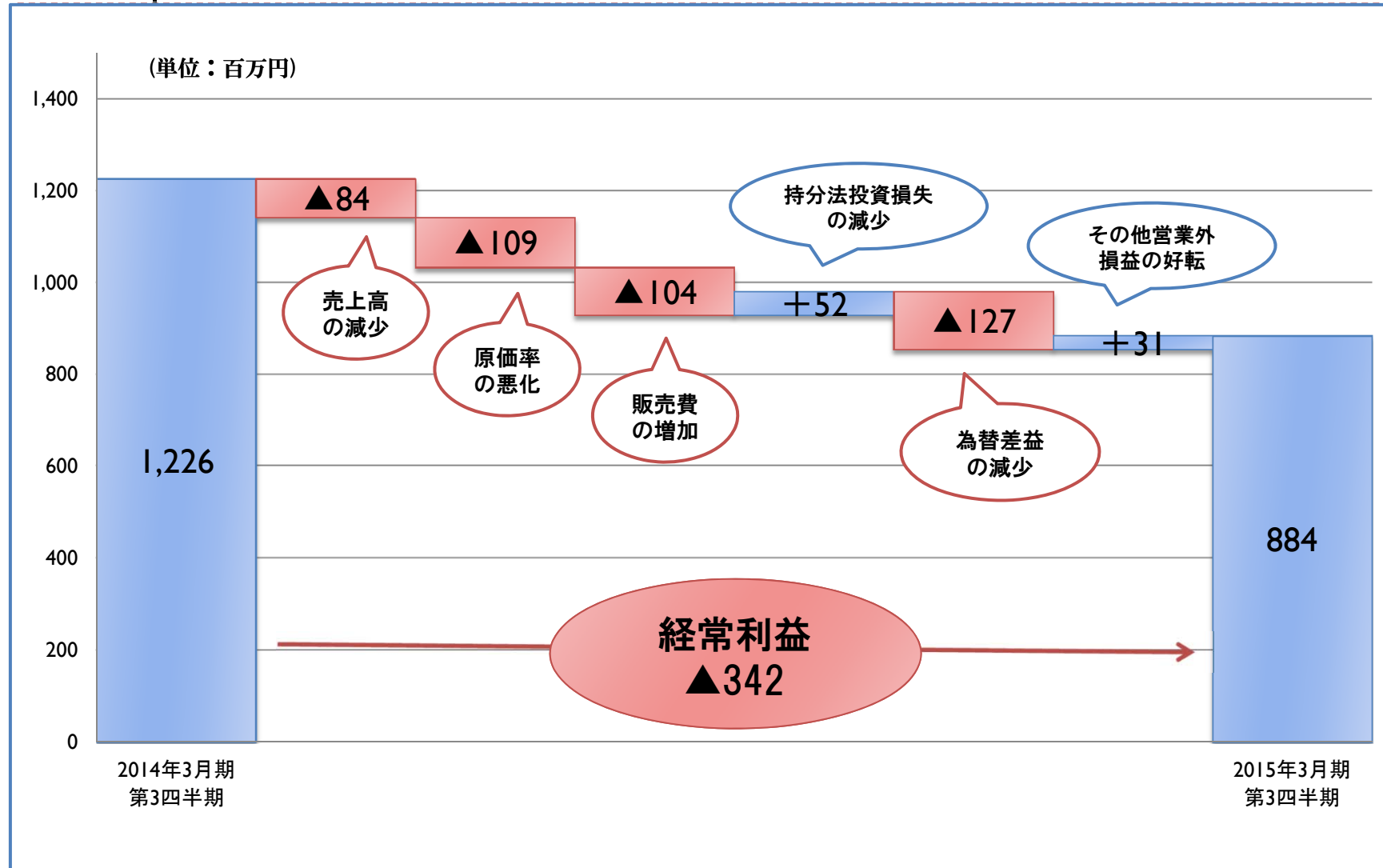
	2014年3月期	2015年3月期	前期比
売上高	2,670	3,105	+434 (+16.3%)
構成比率	13.1%	15.4%	+2.4%
営業利益	130	167	+36 (+27.8%)
営業利益率	4.9%	5.4%	+0.5%



NIKKO Group



## 2015年3月期 第3四半期 【連結】経常利益 増減要因分析





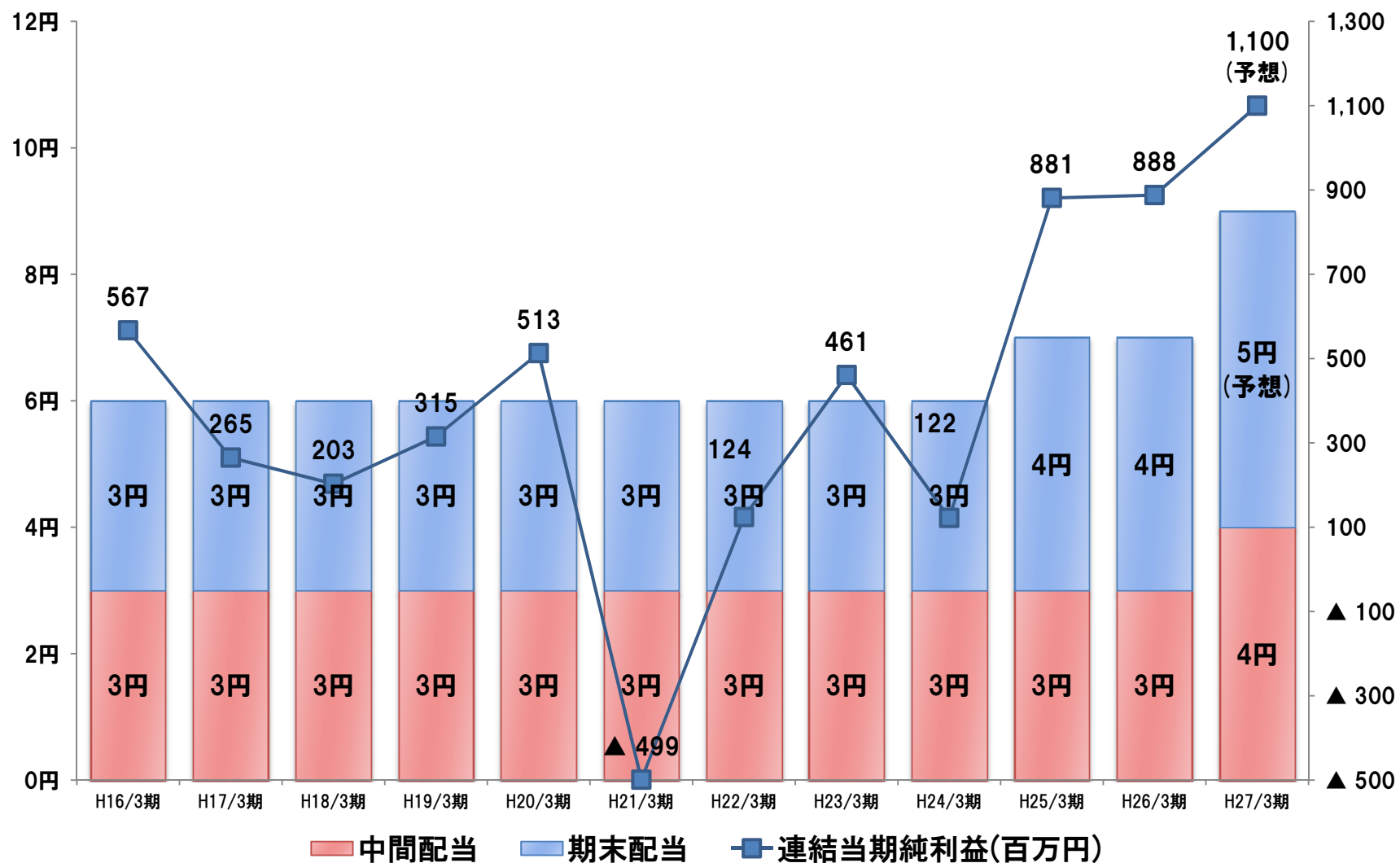
## 2015年3月期 第3四半期 【連結】財政状態の分析

(単位:百万円)

連結貸借対照表		2014年3月期 期末	2015年3月期 第3四半期末	増減	主な変動要因
資産	流動資産	25,355	26,490	+1,135	現金及び預金▲1,453 受取手形及び売掛金▲960 たな卸資産+3,182 繰延税金資産+227
	有形固定資産	4,060	4,190	+130	有形固定資産+130 無形固定資産+144
	無形固定資産	139	283	+144	投資有価証券+402 出資金▲152
	投資その他	10,794	10,898	+104	繰延税金資産▲121
総資産合計		40,348	41,863	+1,514	
負債	流動負債	11,426	11,707	+281	支払手形及び買掛金▲346 未払法人税等▲651 未払金+228
	固定負債	2,754	2,823	+68	賞与引当金▲347 その他+1,401
純資産合計		26,167	27,332	+1,164	四半期純利益+1,044 その他投資有価証券評価差額金+440 配当金▲335
自己資本比率(%)		64.9	65.3	+0.4	
D/E レシオ(倍)		0.09	0.08	-	
1株当たり純資産(円 銭)		624.23	652.09	+27.86	



# 株主還元 配当金



## 2015年3月期 通期業績予想

(百万円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 見通し	増減	見通しの理由
売上高	32,073	32,000	▲ 0.2%	
営業利益	2,249	1,900	▲ 15.5%	
経常利益	1,982	1,700	▲ 14.2%	
当期純利益	888	1,100	+23.9%	
1株当たり 当期純利益	円 銭	円 銭	円 銭	
	21.18	26.24	+5.06	

### 見通しの理由

【売上高】  
増加要因は、アスファルト関連海外事業（中国・ASEAN）、環境関連事業の増加。減少要因はメンテナンスサービス関連の消費税増税前の駆け込み需要の反落。

【利益】  
・営業利益の増加要因は海外事業の売上高増加、環境関連事業の売上高増加。減少要因はメンテナンスサービスの売上高減少と、コストの増加（材料費、外注費、運賃）

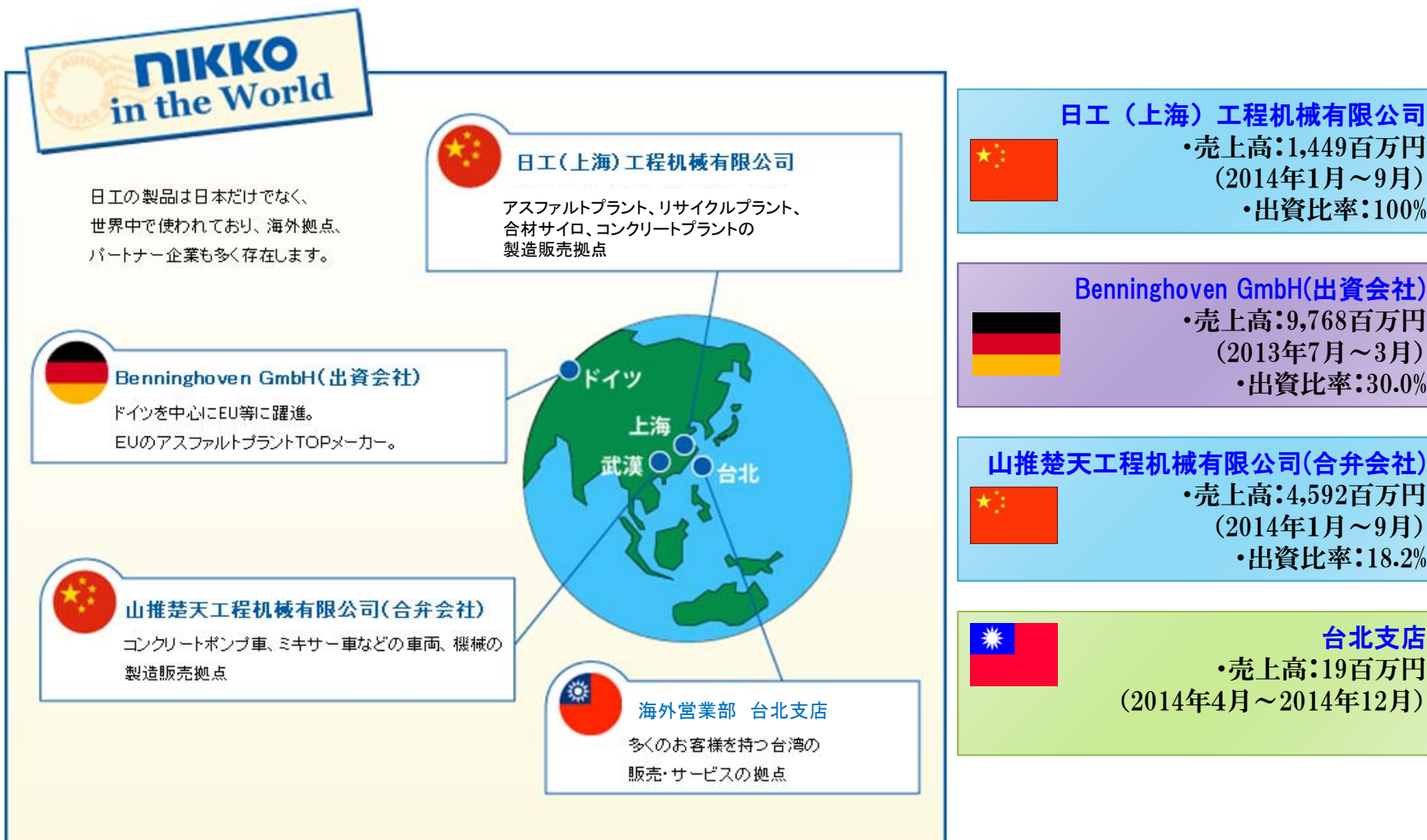
・当期純利益の増加要因は税金費用の減少。



NIKKO Group



## 海外事業の現況





NIKKO Group

## 連結子会社の現況



### ▶ 日工(上海)工程机械有限公司

製造販売の拠点として現地法人を設置

| アスファルトプラント | リサイクルプラント | 合材サイロ |  
| コンクリートプラント |



### ▶ 日工電子工業株式会社

プラント制御機器の製作で培った技術をあらゆる産業に

| アスファルトプラント、コンクリートプラント操作盤 | 水分計 |  
| 動力盤 | 監視システム |

## 日工 株式会社



### ▶ 日工マシナリー株式会社

水門、防水板で暮らしの安全を守る

| 水門 | 建設機械部品 | 防水板 |



### ▶ トンボ工業株式会社

海外マーケットでも高い評価のトンボ印ショベル、スコップ

| ショベル | スコップ | 土農工具 | 小型コンクリートミキサ |  
| モルタルミキサ | ガーデニング用品 |



### ▶ 日工セック株式会社

建設作業の安全性と効率化を実現

| パイプサポート | パイプ枠組足場 | 足場整備機械 |  
| 鋼板製道板 | レンタル、リース |

### 本社全景



### ▶ 株式会社前川工業所

「壊さないと始まらない。壊すことから始めます。」破碎機、振動篩の専門メーカー

| 各種破碎機 | 篩分け機 | 破碎プラント |



### ▶ リフォームショップ絆

(旧工業株式会社)

健康で安全な暮らし...兵庫県明石市、神戸市を中心に、リフォームとそのサービスを提供

| リフォーム業 | 人材派遣 | 保険代理店業 | 宅地建物取引業 |



## 重要な後発事象

### 1. 持分法適用関連会社であるベニングホーヘン（有・合）に対する出資金の譲渡

平成27年1月19日開催の取締役会において、当社の子会社ニッコーバウマシーネン（有）が保有するベニングホーヘン（有・合）の出資金の一部をWirtgen Mineral Technologies GmbHに譲渡することを決議し、同日付で出資金譲渡契約を締結いたしました。なお、譲渡後、ベニングホーヘン（有・合）は持分法適用関連会社でなくなります。

#### （1）出資金の譲渡の理由

ベニングホーヘン（有・合）には1991年にニッコーバウマシーネン（有）を通じ30%の出資をし、今日まで研究開発等で協力関係を築いてきましたが、2014年8月に70%の出資金を創業者一族が道路舗装及び鉱山関連機械大手のWirtgen GmbHの子会社Wirtgen Mineral Technologies GmbHに譲渡し経営の主体が変わりました。今後はWirtgen GmbHが有する世界の販売網を活用する等、Wirtgen GmbH主導で、ベニングホーヘン（有・合）を発展させるため当社は30%の出資持分の内、20%を譲渡することとしました。なお、10%の出資持分を継続保有するのは、Wirtgen GmbHとアジア市場等で協業関係を図っていくためであります。

#### （2）譲渡先の名称

Wirtgen Mineral Technologies GmbH（ドイツ）

#### （3）出資金譲渡予定日

平成27年4月1日

#### （4）当該持分法適用関連会社の名称、事業内容及び当社との取引内容

当該持分法適用関連会社の名称：ベニングホーヘン（有・合）

事業内容：アスファルトプラント関連事業

当社との取引内容：技術提携

#### （5）譲渡する出資金の売却価額、売却損益及び売却後の持分

① 売却価額：2,700百万円（見込額）

② 売却益：1,800百万円（見込額）

③ 売却後の出資持分：10%

## 重要な後発事象

### 2.持分法適用関連会社である山推楚天工程機械有限公司（以下、合併会社）に対する出資金の譲渡

平成27年2月9日開催の取締役会において、合併会社に対する出資金の全部を北京盛天弘成套設備有限公司に譲渡することを決議いたしました。なお、譲渡後、合併会社は持分法適用関連会社でなくなります。

#### (1) 出資金の譲渡の理由

当社は、平成22年2月3日付「中国合併会社設立に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、中国・山推工程機械股份有限公司及び武漢中南工程機械設備有限責任会社とともにコンクリートポンプ車及びコンクリートプラント等コンクリート関連機械の製造販売等を事業目的として合併会社に出資いたしました。その後、山推投資有限公司が出資当事者に加わり、中国市場における事業拡大を図ってまいりましたが、中国におけるビジネス環境の変化及びコンクリート機械の販売低迷等により当初計画した事業計画の達成及び業績回復が困難な状況であると判断しましたことから、今般、合併会社に対する出資金を譲渡することとしました。なお、合併関係は解消いたしますが、コンクリート関連機械の製造・販売に関する業務提携・技術提携につきましては継続する予定です。また、合併会社について合併当事者と協議を行い、合意後、中国国内の認可等の手続きを経たうえで、合併会社に対する出資持分18.22158%全部を新たに合併会社に参加する北京盛天弘成套設備有限公司に譲渡する予定です。

#### (2) 譲渡先の名称

北京盛天弘成套設備有限公司（中国）

#### (3) 出資金譲渡予定日

未定

#### (4) 当該持分法適用関連会社の名称、事業内容及び当社との取引内容

当該持分法適用関連会社の名称：山推楚天工程機械有限公司

事業内容：コンクリート機械の製造・販売

当社との取引内容：業務提携・技術提携



当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。

当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。

従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。

また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましても、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。